第３講　昭和史③（民主化）

東久邇宮稔彦（ひがしくにのみやなるひこ）内閣（1945 年）

敗戦直後の国民心理を考慮し，「一億総懺悔（ざんげ）」「国体護持」を唱え組閣した**唯一の皇族**。

1945 年　**連合国軍総司令部〔GHQ〕設置→最高司令官マッカーサー元帥（げんすい）**

※ワシントンの**極東委員会**〔FEC〕，東京の**対日理事会**〔ACJ〕と連動した**間接統治**方式。

米艦ミズーリ号上で降伏文書調印（９月２日）

※重光葵（まもる）外相と梅津美治郎（よしじろう）参謀総長が調印。

プレス・コード→ GHQ の発するポツダム勅令への批判許さず

人権指令を実施不可能として総辞職

※とくに「天皇制に関する自由な議論の奨励」部分。

幣原喜重郎（しではらきじゅうろう）内閣（1945 ～ 46 年）

ワシントン体制の下（もと）で協調外交を展開し，米英にも知られた**元外相**が組閣。

1945 年　**国際連合**発足

マッカーサーの口頭による**五大改革指令**

①婦人の解放②労働組合結成の奨励③教育の自由主義化

④圧政的諸制度の撤廃⑤経済の民主化

※治安警察法・治安維持法・特別高等警察は廃止。

※憲法改正も指示，政府に憲法問題調査委員会（委員長＝松本烝治（じょうじ）国務大臣）が設置される。

日本共産党再建→戦前は非合法の地下組織

日本社会党結成→戦前の無産政党を統合

日本自由党結成→戦前の立憲政友会

日本進歩党結成→戦前の立憲民政党

財閥解体指令

神道指令〔国家と神道の分離指令〕

婦人参政権を認めた新選挙法（＝ **20 歳以上の男女に選挙権**）公布
労働組合法
※翌年，日本労働組合総同盟〔総同盟〕（右派）と全日本産業別労働組合会議〔産別会議〕（左派）が結成される。
第１次農地改革（案）→農地調整法改正

1946 年　**昭和天皇の「人間宣言」**（１月１日）
金融緊急措置令→預金封鎖と新円切り替え
公職追放令
戦後初の衆議院議員総選挙→ 39 名の婦人代議士が当選
※日本自由党が第１党となり総辞職（幣原首相は日本進歩党）。

吉田茂（しげる）①内閣（1946 ～ 47 年）

日本自由党が第２党の日本進歩党の協力を得て組閣した，**戦後初の政党内閣**。
※党首鳩山一郎の公職追放により，吉田茂が組閣。

1946 年　戦後初のメーデー→直後の食糧メーデーは GHQ が否認
極東国際軍事裁判〔東京裁判〕開廷
労働関係調整法
第２次農地改革開始→自作農創設特別措置法
日本国憲法公布（11 月３日）
傾斜生産方式の採用→石橋湛山蔵相
※石炭・鉄鋼などに**復興金融金庫**から重点融資。

1947 年　**二・一ゼネスト中止指令**
教育基本法・学校教育法
労働基準法
独占禁止法
地方自治法→首長は公選制に
初の参議院議員選挙
戦後２度目の衆議院議員総選挙
※日本社会党が第１党となり,**日本国憲法施行（５月３日）**後に総辞職。

片山哲(てつ)内閣（1947 ～ 48 年）

日本社会党・民主党・国民協同党の３党連立政権。**初の社会主義政党からの首相**。
※調整に苦労しつつ中道(ちゅうどう)政治を展開。

1947 年　労働省設置
過度経済力集中排除法
新刑法〔刑法改正〕
新民法〔民法改正〕→戸主制度を廃止
内務省の廃止

1948 年　日本社会党の左右両派の対立により総辞職。

芦田均(ひとし)内閣（1948 年）

三党連立体制は崩さないまま，**民主党**政権が誕生。引き続き中道政治を展開。

1948 年　警察法施行→自治体警察と国家地方警察
教育勅語の失効
教育委員会法→当初は公選制
政令 201 号→翌年に国家公務員法改正（公務員の争議権廃止）
昭和電工事件
※ GHQ を巻き込んだ疑獄事件により総辞職。

吉田茂②③④⑤内閣（1948 ～ 54 年）

民主自由党（もと日本自由党）の吉田茂が政権に返り咲く。

※民主自由党は 1950 年に**自由党**に改組。

1948 年　**極東国際軍事裁判〔東京裁判〕の判決**

※起訴されたＡ級戦犯 28 名のうち，東条英機・広田弘毅ら７名が絞首刑に。昭和天皇の戦争責任は追及せず。

経済安定九原則実行指令→財政再建とインフレ収束を目指す

1949 年　法隆寺金堂（こんどう）壁画焼損→翌年の文化財保護法制定へ

ドッジ・ライン実施

※復興金融金庫からの融資停止などのデフレ政策により,「安定恐慌〔ドッジ・デフレ〕」へ。

１ドル＝ 360 円の単一為替レート設定

国鉄三大怪事件→下山（しもやま）事件・三鷹（みたか）事件・松川事件

シャウプ勧告→直接税中心主義の税制改革

中華人民共和国成立

湯川秀樹が初のノーベル賞受賞（物理学賞）

1950 年　**朝鮮戦争**勃発→**特需景気へ**

※ 1948 年に成立した**朝鮮民主主義人民共和国**が，**大韓民国**に侵攻。

日本労働組合総評議会〔総評〕結成

警察予備隊発足

レッド・パージ開始

公職追放解除開始（～ 52 年）

1951 年　**サンフランシスコ講和会議**

サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約（９月８日）

※日本社会党が両条約をめぐり左派と右派に分裂。

ベネチア国際映画祭で黒澤明（くろさわあきら）監督の『羅生門（らしょうもん）』グランプリ受賞

1952 年　**日米行政協定**

日華平和条約

サンフランシスコ平和条約発効（４月 28 日）

皇居前広場事件〔血のメーデー事件〕

破壊活動防止法

保安隊発足

1953 年　テレビ放送開始

朝鮮戦争休戦

奄美(あまみ)諸島返還

1954 年　アメリカによる**ビキニ水爆実験・第五福龍丸事件**

MSA 協定（日米相互防衛援助協定など）

教育二法

新警察法→警察庁の下へ組織を一本化

防衛庁・自衛隊発足

造船疑獄事件

※反吉田派が自由党を離党，総辞職。

〈*Note*〉